

保 存 版

令和7年度

串本町のみなさまへ

あなたが対象となる健診の
受診券をお届けします!

同封のクリーム色の受診券は、
個別健診(医療機関)でも集団健診でも
必要になります!
受診されるまで大切に保管してください!!



健診のご案内

●個別健診実施期間
令和7年
5月7日(水)～
12月26日(金)

どちらか選んで
受けましょう!



個別健診(医療機関)

医療機関へ直接申込み

P2へ

集団健診

保健センターへ申込み

P4へ

🌟 令和7年度に40、45、50、55、60歳の方は
対象となるすべての健診を無料で受けられます!

🌟 令和7年度に20、25、30、35歳の女性は
子宮頸がん検診を無料で受けられます!

《健診を受ける際のご注意》

- 生活保護を受けている方は健診を無料で受けることができます。健診当日までに、保健センターに受診券を持参し、申請してください。
- 串本町国民健康保険から社会保険に切り替わった時点で、国保特定健診の対象ではなくなります。社会保険に切り替わってから国保特定健診を受けた場合は、健診費用を全額お支払いいただきます。
- 個別健診や集団健診において、同じ内容の健診を2回受けた場合は、2回目の健診費用を全額お支払いいただきますのでご注意ください。

お問合せ先：串本町保健センター ☎0735-62-6206

個別健診（医療機関）



● 受診の流れ

1 受診券が届く（今回）



2 医療機関に直接電話等で予約する



4 予約日に健診を受診する
（健診結果については直接受診機関にお尋ねください）



3 国保特定健診を申込みの方は、問診票を設置場所★に取りに行き、受診日までに記入。（がん検診は受診日に医療機関にて記入）

5 対象者には特定保健指導の実施

★町内各公民館（和深・田並・有田・潮岬）・和深総合センター・大島開発総合センター・田原連絡所・文化センター・串本町役場住民課／保健センター

● 実施期間

令和7年5月7日（水）～令和7年12月26日（金）

※医療機関によっては実施期間が異なる場合があります。予約時に医療機関にご確認ください。

健診は、10月頃までに受けることをお勧めします。10月以降はインフルエンザの予防接種や感染症等の受診が増えるため、医療機関が混み合います。ご協力をお願いします。

● 協力医療機関

町内 医療機関	住所	電話番号	特定	がん検診						備 考
				胃		肺	大	子	乳	
				X線	カメラ					
稲生医院	串本1735-52	62-3811	●							※くしもと町立病院の子宮頸がん検診は、第2・4水曜日のみ。
榎本クリニック	西向122-3	72-3530	●							
覺前医院	和深838	67-0077	●							
覺前医院田並診療所	田並942	66-0323	●							
鎌田医院	潮岬3143	62-2526	●							
くしもと町立病院	サンゴ台691-7	62-7111	●	●	●	●	●	●※		
けんゆうクリニック	串本1790	62-5080	●	●	●		●		●	
こしみちクリニック	くじ野川1356-4	67-7785	●							
杉医院	串本1929	62-0153	●							
やもとクリニック	上野山191	72-3388	●		●		●			
町外 医療機関										
いずみウィメンズクリニック	新宮市清水元1-6-33	(0735)21-0311						●		
矢島医院	新宮市別当屋敷町6-8	(0735)22-2337						●		
新宮市立医療センター	新宮市蜂伏18番7号	(0735)31-3333						●	●	
白浜はまゆう病院	西牟婁郡白浜町1447	(0739)43-7877	●	●	●	●	●	●	●	
榎本産婦人科	田辺市湊8番地26号	(0739)22-0019						●		
紀南病院	田辺市新庄町46番地の70	(0739)22-5000						●	●	
玉置病院	田辺市上屋敷2丁目5-1	(0739)22-6028							●	
南和歌山医療センター	田辺市たきない町27-1	(0739)26-7050	●	●	●	●	●	●	●	
レディースクリニックばんどう	田辺市東山2丁目27-26	(0739)25-0929						●		

受診時の注意!!

- ①必ず事前に医療機関に連絡をし、予約をしてから受診してください。
- ②がん検診問診票は、検診医療機関に準備していますので、当日ご記入ください。
- ③国保特定健診の問診票は、記入に時間がかかりますので、スムーズな受診のため事前の記入（設置場所：上記★）にご協力ください。

受診時の持ち物

- ①受診券（ないと受診できません。必ず持参してください）
- ②個人負担金
- ③マイナ保険証もしくは資格確認証（国保特定健診と、精密検査になった場合に必要）



健診の対象者・検査内容・金額等について

健診	国保特定健診	がん検診				
		胃	肺	大腸	子宮頸	乳房
対象	40～74歳の 串本町国保 加入者	50歳以上 2年に1回	40歳以上	40歳以上	20歳以上の 女性 2年に1回	40歳以上の 女性 2年に1回
検査	問診 身体測定 血圧測定 血液検査 検尿 心電図 診察 5ページ参照	胃X線検査 発泡剤とバリウムを飲み胃の中の粘膜を観察する検査です。 胃内視鏡検査 口または鼻から胃の中に内視鏡を挿入し、胃の内部を観察する検査です。	胸部X線検査 レントゲンにより、胸の病変を見つける検査です。 喀痰検査 採取した痰を培養して細菌を調べます。 ※50歳以上で喫煙指数(1日本数×喫煙年数)が600以上の方	便潜血検査 便に混じった血液を検出する検査です。 2日分の便を採取し、冷蔵所に保存しましょう。 がんによる出血は通常は微量で目に見えません。	頸部細胞診 子宮頸部を、専用の器具で擦って細胞を取って、がん細胞など異常な細胞がないか調べます。	マンモグラフィ X線を用いて左右の乳房を上下斜め方向から撮影し、小さいこりや石灰化がないか調べます。
集団健診	無料	胃X線検査のみ 500円	胸部のみ無料	200円	500円	700円
			胸部+喀痰 300円			
個別健診	無料	胃X線検査 1,200円 胃内視鏡検査 2,000円	胸部のみ200円	500円	1,200円	1,100円
			胸部+喀痰 500円			

精密検査 内容	血液検査・診察の結果等により、医療機関受診が必要となります。	胃内視鏡検査	CT検査	全大腸内視鏡検査	コルポスコープ検査	マンモグラフィの追加検査
		X線検査後の精密検査は、胃内視鏡検査を行います。検診が胃内視鏡検査の時は、検診時に同時に生検(組織を採取し、悪性かどうか調べる検査)を行う場合があります。	X線を使って病変が疑われた部分の断面図を撮影し詳しく調べます。 気管支鏡検査 気管支鏡を口や鼻から気管支に挿入して病変が疑われた部分を直接観察します。必要に応じて組織を採取し悪性かどうか診断します。	肛門から内視鏡を挿入して大腸を調べます。必要に応じて組織を採取して診断します。 内視鏡検査と大腸のX線検査の併用法 内視鏡が届かない奥の大腸をX線検査で調べます。大腸全体をX線写真で様々な方向から撮影します。	コルポスコープ(腔拡大鏡)を使って子宮頸部を詳しく観察します。異常な部分が見つければ、組織を採取し、悪性かどうか診断します。細胞診の結果によっては、HPV検査を行い、コルポスコープ検査が必要かどうか判断することもあります。	疑わしい部位を多方面から撮影します。 超音波検査 超音波で、疑わしい部位を詳しく観察します。 細胞診、組織診 疑わしい部位に針を刺して細胞や組織を採取し悪性かどうか診断します。

《健診受診時の注意事項》

- 胃がん検診：胃内視鏡検査は、原則として鎮痛剤、鎮静剤は使用しないこととなっています。
- 肺がん検診：当日は、ボタン、金属類のついた衣服や下着をつけないようにしてください。
- 大腸がん検診：女性の生理中の採便は避けてください。また、痔を含めた出血症状のある方は検診ができません。
- 子宮頸がん検診：生理中の方、子宮全摘出されている方は、受診ができません。
- 乳がん検診：撮影時痛みを伴うことがあります。豊胸手術を受けた方、妊娠中または授乳中の方、ペースメーカー挿入中の方、脳室腹腔シャント施行の方等は受診できません。
- 特定健診：前日の夜9時以降は何も食わずに受診してください。中性脂肪や空腹時血糖値が正確に検査できません。水分補給が必要な方は、糖分を含まないお水・お湯・白湯に限り飲んでいただけます。

集団健診（串本町役場や古座小学校等）



●受診の流れ

① 受診券が届く



② 保健センターに電話または来所で希望日を申し込む



☎0735-62-6206
(串本町保健センター)

③ 集団健診の案内が届く（健診日の約2週間前）



⑤ 健診結果説明会の開催 特定保健指導の実施

※結果説明会・特定保健指導は平日開催です。



約1か月半後

④ ご案内の日程で受診する



●日 程

月	日	曜	受付時間	場所	特定	がん検診					定員	申込締切日
						胃	肺	大	子	乳		
6	21	土	8:00~10:45	串本町役場	●		●	●			90	5月14日(水)
	22	日	8:00~10:45	串本町役場	●	●	●	●	●	●	100	
7	12	土	8:00~10:45	串本町役場	●	●	●	●	●	●	100	6月4日(水)
9	13	土	8:00~10:45	串本町役場	●		●	●			90	8月6日(水)
	14	日	8:00~10:45	串本町役場	●	●	●	●	●	●	100	
10	11	土	8:00~10:45	古座小学校体育館	●	●	●	●	●	●	100	9月3日(水)
	12	日	8:00~10:45	串本西小学校体育館	●	●	●	●	●	●	90	
	25	土	8:00~10:45	串本町役場	●	●	●	●	●	●	100	9月17日(水)
	26	日	8:00~10:45	串本町役場	●		●	●			90	

*申込期日を過ぎても、定員に満たない場合は申込できますので、お問い合わせください。

※大腸がん検診の後日回収は実施しませんのでご了承ください。

※喀痰検査をご希望の方は、肺がん検診を申込の際に一緒にお申込みください。当日検診時の申込はできません。

がん検診を「正しく受ける」ためのお願い

町のがん検診は、職場等で受診の機会がない方を対象としています。また、国の指針により対象となる年齢や受診間隔を設定しており、症状のない方を対象としています。

症状（自覚症状）のある方：自覚症状があると思われる方は、がん検診ではなく、すみやかに診療として医療機関を受診してください。

がんの既往歴がある方や経過観察中の方：原則として、すでに医療機関で、がんの治療（がんの既往歴がある場合）や経過観察中の方は、がん検診は受診できません。

職場等で、がん検診を受診できる方：職場等のがん検診を受診してください。



40～74歳の国民健康保険加入者のみなさまへ

～国保特定健診について～

職場等での健診が優先となります。
健診結果の情報提供にご協力ください。

★約10,000円相当の特定健診が…… **無 料** で受けられます

- 対象者：令和7年4月1日現在、串本町国民健康保険に加入している方で、40歳から74歳までの方
(年齢基準日：令和8年3月31日時点)
- 国保特定健診内容：以下の健診項目（基本的＋追加項目）が検査できます

★基本的な健診項目

問診	服薬、喫煙歴、既往歴など
身体計測	身長、体重、BMI、腹囲
血圧測定	
脂質検査	空腹時中性脂肪 HDLコレステロール LDLコレステロール
肝機能検査	AST (GOT) ALT (GPT) γ-GT (γ-GTP)
血糖検査	空腹時血糖値 ヘモグロビンA1c
尿検査	尿糖 尿蛋白
医師の診察 (判定)	

串本町の追加健診項目

貧血検査	赤血球 血色素量 ヘマトクリット値
脂質検査	LH比 non-HDLコレステロール 総コレステロール
肝機能検査	ALP
腎機能検査	クレアチニン e-GFR
尿酸検査	尿酸
膵臓機能検査	アミラーゼ
尿検査	尿潜血
心電図検査	



集団健診で国保特定健診を受けるとさらにお得!!

集団健診で国保特定健診を受ける方の特典

- ①集団健診で初めて国保特定健診を受ける方に肝炎ウイルス検査を追加
- ②血圧測定や前年度の血糖検査で、医師が必要と認めた方に眼底検査追加

※個別健診で国保特定健診を受ける方には、追加されませんので、ご注意ください。

【ご注意ください】

国民健康保険から社会保険への切り替え等により国民健康保険の資格を喪失した日以後に国保特定健診を受けた場合は、健診費用を全額お支払いいただくことになりますのでご注意ください。



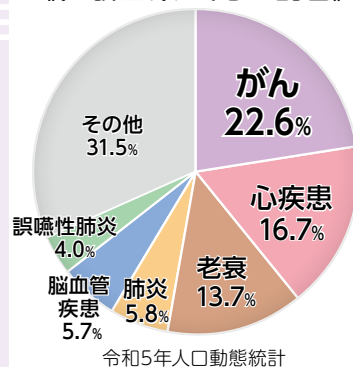
医療機関に定期的に通院されている方や、職場等で健診を受ける機会のある方につきましては、別紙（ピンク色）「検査データ・健診結果の情報提供に関するご案内」をご確認ください。



がん検診説明書

- 日本人の2人に1人が生涯のうちに「がん」にかかり、4人に1人が「がん」で亡くなっています。
- 和歌山県においても、「がん」は昭和54年から現在まで死亡原因の第1位という状況です。
- 特に肺がん・大腸がん・胃がんは、がん死亡の上位に位置しています。また、乳がんは女性におけるがん死亡の上位に位置しており、子宮頸がんにかかる方は近年増加傾向にあります。

《和歌山県の死亡割合》



喫煙と肺

たばこを吸う人は、たばこを吸わない人に比べて、肺がんで亡くなるリスクが日本人男性で約5倍、女性で約4倍高くなり、たばこを吸う年数、本数が多いほど肺がんになりやすいという研究結果が出ています。

たばこは喫煙者本人のみならず、周りの人（受動喫煙者）の肺がんのリスクもあげてしまいます。禁煙によってご自身と周りの人の健康な肺を守りましょう。



◆がん検診を受ける前に

- 胃・肺・大腸・子宮頸・乳がん検診は「死亡率を減少させることが科学的に証明された」有効な検診です。
- すべての検診にはメリットとデメリットがあります。がん検診を正しく理解し、早期発見、治療で大切な命を守るために、定期的に検診を受診し、「異常あり」という結果を受け取った場合には必ず精密検査を受けるようにしてください。



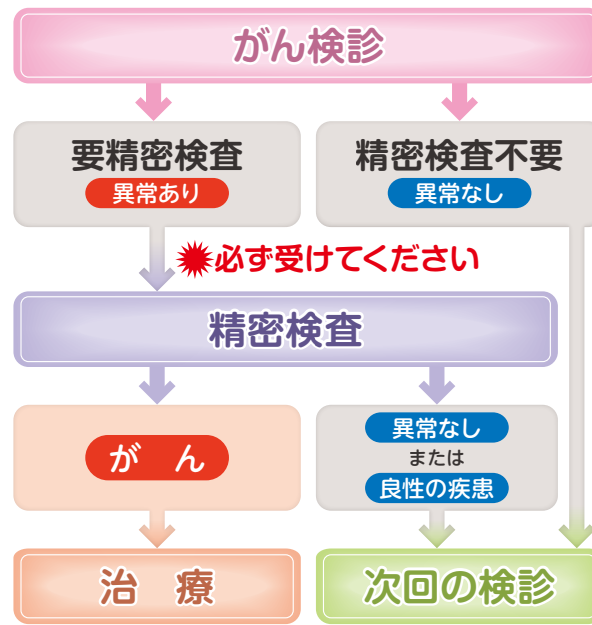
がん検診のメリット・デメリット

- 検診を受けることで自覚症状のない早期の状態で見つかり、早期の段階で適切な治療につながるなど、がんによる死亡リスクが減少します。
- 検診は定期的に受けてください。ただし、自覚症状がある場合は次の検診を待たずに医療機関を受診してください。
- 検診では、すべてのがんが見つかるわけではありません。がんは発生してから一定の大きさになるまでは発見できませんし、検査では見つけにくいがんもあります。
- 検診では、がんでないのに「要精密検査」と判定されたり、放置しても死に至らないがんが見つかったために、本来は不要であった可能性がある治療を受けなければならない場合もあります。
- 検診は自治体と各医療機関が連携して行っています。精密検査の結果は関係機関で共有されます※。

※精密検査の結果は市町村へと報告されます。

また、最初に受診した医療機関と異なる医療機関で精密検査を受けた場合は、最初に受診した医療機関にも後日精密検査結果が共有されます。

がん検診の流れ



がん検診を待たずに
医療機関を受診するべき
自覚症状とは

- 胃 胃の痛み、不快感、食欲不振、食事がつかえるなど
- 肺 血痰、長引く咳、胸痛、声のかれ、息切れなど
- 大腸 血便、腹痛、便の性状や回数の変化など
- 子宮頸 月経（生理）以外に出血がある、閉経したのに出血がある、月経が不規則など
- 乳 しこり、乳房のひきつれ、乳頭から血性の液が出る、乳頭の湿疹やただれなど

がん検診や精密検査の検査方法については、3ページをご確認ください。